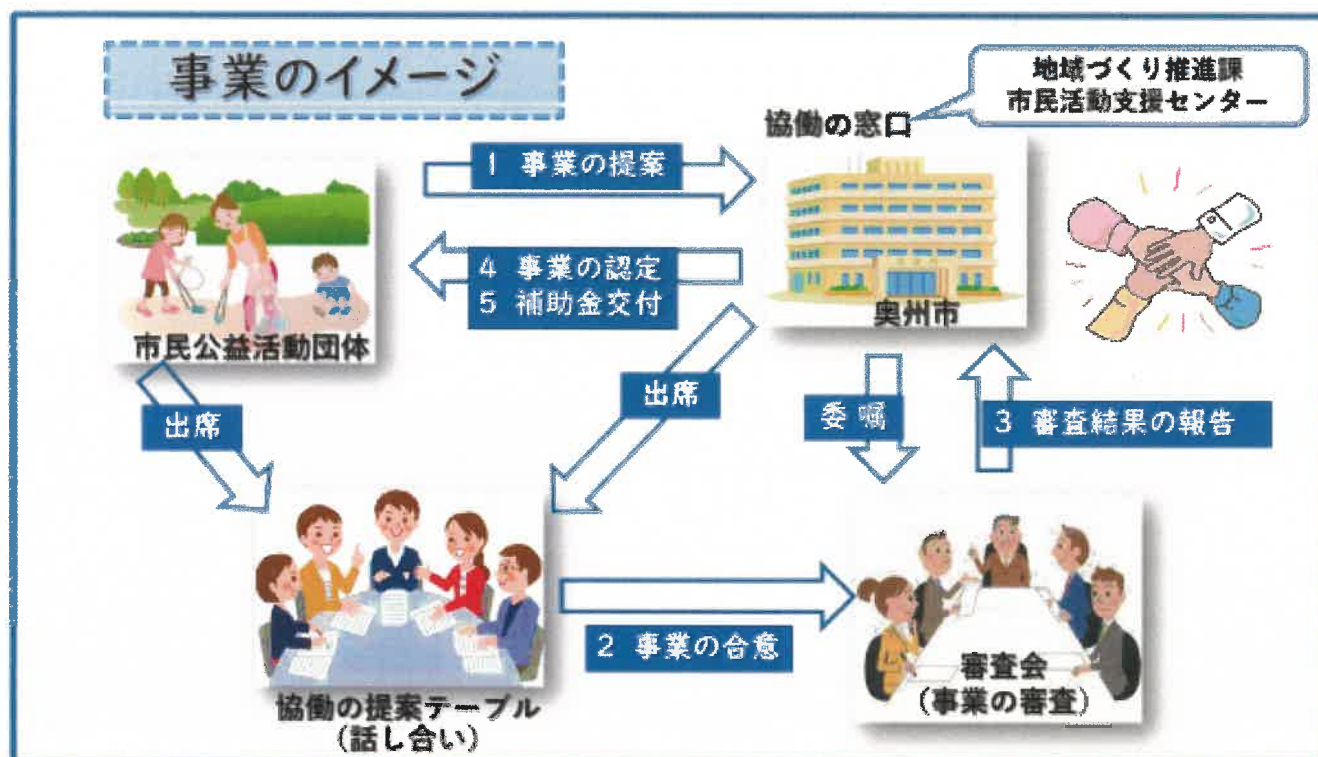


令和4年度
奥州市市民提案型協働支援事業

事業完了報告公表資料



令和4年度「奥州市市民提案型協働支援事業」認定事業の5事業が完了しましたので公表します。市民のみなさんからの応援を受けて、市民公益活動団体が事業を展開していきますので、今後とも団体の活動を見守り応援していただきますようお願いいたします。

公表期間 令和6年3月28日(木)～令和6年4月29日(月)

《問い合わせ先》

奥州市協働まちづくり部地域づくり推進課市民活動係
〒023-1192
奥州市江刺大通り1番8号
電話：0197-34-1618 FAX：0197-35-7466
Eメール：chiikidukuri@city.oshu.iwate.jp



No	団体名	事業名	主な内容	総事業費 (円)	申請 補助金額 (円)	担当課・関係課	提案者が担った役割	市が担った役割	その他の団体が担った役割
1	特定非営利活動法人 継続 シチズンスポーツ奥 州	インクルージブ サッ カー教室	●障がい者へのスポーツ環境の提供を目的とし てサッカー教室を開催した。 実施期間：令和4年6月25日～令和5年3月18 日 全12回 実施場所：胆沢川桜づつみ多目的広場、水沢 勤労体育館 ●障がい者スポーツに関わる指導者・ボランティア の育成 ●新たな参加者の発掘と育成	400,887	300,000	協働まちづくり部生涯 学習スポーツ課 福祉部福祉課	サッカー教室開催に 係るコーディネート、 告知、進行、事務処 理等	対象者への教室開催 の周知等	岩手県知的障がい者 サッカー連盟、講師派 遣等
2	新規 NPO法人奥州わらす ば	奥州市内 家族食堂 (子育て世代の救世 主)	●家族食堂(子ども食堂・子どもの居場所)を開 設。 みなはじ食堂 全10回 みんなの家(7月・8月・9月・11月) 奥州わらすば(遊楽業) 全8回 奥州わらすば・社協(バイオニア校場) 全3回 ●奥州市内の実施状況が一目でわかるチラシ を作成し、事業を周知。 ●食料提供等の情報交換を行った。 ●開設する際の問題点や解決策の共有。	500,000	300000 (交付額 280,000)	福祉部福祉課 健康こども部こども家 庭課			
3	新規 (公社)江刺青年会議 所	Hallowe'en NIGHT (ハロウィンナイト)ー One Love フェスタ	●地域の子ども達とその家族が楽しめる機会を 作ることで、地域への愛着を強めることを目的 に、ハロウィンイベントを実施した。 実施時期：令和4年10月29日16時～19時 実施場所：奥州市江刺中町地内 蔵町モール 実施内容：蔵町通りにハロウィン飾りを(地域の 児童が作成)を設置し、仮装での参加者を多数 集めた。キッズコーナー、射的コーナーも設置して 親子で楽しめる空間を作った。	257,308	50,000	商工観光部商業観光 課 都 市整備部維持管理課	会場設営、広場、事 業運営、会場警備	道路使用に係る許可 なし	なし
4	新規 みんなの家	みんなのこども食堂	●多世代が交流できる場を作る為、子ども食堂 を中心に遊べるイベントを開催した。 実施期間：令和5年1月22日 10時～14時 実施場所：川端集会所 実施内容：参加者20名、ボランティア77名。 ①おにぎりや豚汁の提供 ②ピラティス講師のリラクゼーション体験 ③メイクボランティア美タのハンドマッサージ講 座 ④フリーマーケット「誰かの不要は誰かの必要」 ⑤無料カフェスペース ⑥おもちゃコーナー	55,143	50,000	健康こども部こども家 庭課	企画、周知、運営全 般	市関係各所への広 報、チラシ配布	メイクボランティア 美タ、講師の実施 奥州市社会福祉協議 会、食材の提供
5	新規 特定非営利活動法人 青少年未来プロジェ クト	「おうしゅう無料塾」20 23・冬	●児童生徒の学習機会を平等に近づけることを 目的に、冬休み期間を利用した無料塾を開設し た。 実施期間：令和4年11月5日、12月、26日、12月3 日、17日、26日、27日、28日、29日、30日 の全 10回 16:30～20:30 実施場所：えびの 実施内容：市内在住の児童生徒に、国語と数学 を中心に講義及び個別指導を行った。	95,500	50,000	教育委員会事務局学 校教育課	無料塾の企画、設 営、運営、広報、学習 指導、生徒ケア、キヤ リア指導	事業内容周知	なし

支援対象団体・事業一覧(目次)

No	団体名	事業名	ページ
1	特定非営利活動法人 シチズンスポーツ奥州	インクルーシブ サッカー 教室	1
2	NPO法人奥州わらすば	奥州市内 家族食堂(子育て 世代の救世主)	5
3	公益社団法人江刺青年会 議所	Hallowe'en NIGHT (ハロ ウィンナイト) -One Love フェスタ	7
4	みんなの家	みんなのこども食堂	9
5	特定非営利活動法人青少 年未来プロジェクト	「おうしゅう無料塾」202 2・冬	12

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	奥州市市民提案型協働支援事業補助金事業認定に係る提案（ステップアップコース）	
補助事業主体 団体名	NPO法人シチズンスポーツ奥州	
補助事業の名称	インクルーシブサッカー教室	
現状の課題	市民提案型協働支援事業を活用し、4年目。ここ数年は新型コロナウイルスの影響により、思い通りに活動できていない。それにより、参加人数、規模、財源等も伸びずに活動している。現在の参加者からはとてもニーズがあり、リピートして頂き、参加率も比較的高い。しかしながら、新規の参加者が少なく、身内だけで仲良くやっっている、閉鎖的な事業になってしまっている。	
事業の目的及び 期待する効果	■目的 奥州（県南）地域における障がい者へのサッカー体験の機会の提供 障がい者スポーツに関わる指導者・ボランティアの育成 知的障がい者サッカーチームへの練習環境の提供 ■目標 新たな選手の発掘と育成 整った環境（施設・用具）でのトレーニングの実施 スタッフやボランティアの確保	
事業の成果 もたらした効果 （目的に対しての達成具合など）	コロナ禍においても、サッカー体験の機会を提供出来たことで、技術の向上やサッカーの楽しさをより一層深める事が出来た。また、奥州ユナイテッドFCの選手と一緒にトレーニングした後に、試合観戦をする事が出来た。社会人の試合を中々観ることも出来ない為、いい経験となった。	
事業の実施状況	実施期間	2022年6月25日から2023年3月18日まで
	実施場所	胆沢川桜つつみ多目的広場及び水沢勤労者体育館
	実施内容	■周知については、事業告知チラシを作成し、市内相談事業所へ配布。 ■講師は、岩手県知的障がい者サッカー連盟より派遣を受けて実施している。（メイン講師1名、補助講師1名） ■新型コロナウイルスの影響もありましたが、6月25日から事業を開始し、12回の教室を実施している。 ■小学生以下を対象とした親子サッカー教室の参加者は延べ44名。中学生以上を対象としたサッカー練習会の参加者は延べ60名となっている。 ■参加者の状況を見ると通年参加やリピーター（複数参加）の割合が多く、参加者の満足度は高いと感じている。
事業実施における 役割分担	提案者	サッカー教室開催に係るコーディネイト、告知、進行、事務処理
	市	対象者へのサッカー教室開催の周知等

	その他団体 岩手県知的障がい者サッカー連盟：講師派遣等
事業の今後の見通し	サッカーをメインに今まで活動してきたが、サッカー以外の運動も今後取り入れていき、コラボレーションコースで提案予定。
今後の課題	新型コロナウイルスによる行動制限が緩和されていく中で、参加者をどのように増やしていくか。また、サッカー以外のスポーツを取り入れた時に、講師等を派遣できるのか。

備考

- 1 現状の課題及び事業の目的については、奥州市市民提案型協働支援事業補助金計画書（様式第3号）の内容と一致させること。
- 2 事業の成果等、事業の実施状況、事業の今後の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 3 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

奥州市市民提案型協働支援事業補助金収支決算書

1 収 入

（単位：円）

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
補助金	300,000	300,000	0	奥州市市民提案型協働支援事業補助金 (ステップアップコース)
参加料	66,000	48,500	-17,500	参加料@3,000円×8人=24,000円 個別参加料@500円×49人=24,500円
自己資金	52,620	52,387	-233	NPO法人自己資金
合 計	418,620	400,887	- 17,733	

2 支 出

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
報償費	144,000	82,000	-62,000	障がい者サッカー連盟講師謝金 @2,000円×3H×13回=78,000円 @2,000円×2H×1回=4,000円
食糧費	5,760	10,924	5,164	講師、ボランティアスタッフ用飲物 熱中症対策
旅費	156,960	92,600	-64,360	講師旅費 @20円×80km×往復×11回=35,200円 @20円×90km×往復×3回=10,800円 高速代(盛岡南IC-水沢IC往復) 3,340円×10回=33,400円 高速代(滝沢IC-水沢IC往復) 4,260円×1回=4,260円 高速代(滝沢IC-水沢IC往復)ETC割 2,980円×3回=8,940円
消耗品費	51,480	151,373	99,893	フットサルゴール ミニサッカーゴール
印刷製本費	33,000	33,000	0	開催要項・チラシ印刷代 @60円×500部×1.1=33,000円
役務費	7,920	3,440	- 4,480	振込手数料一式 330円×1、270円×11回 システム使用料140円×1回
保険料	18,000	27,550	9,550	スポーツ傷害保険 @800円×9人=7,200円 @1850円×11人=20,350円

特定非営利活動法人シチズンスポーツ奥州

通信運搬費	1,500	0	-1,500	
合 計	418,620	400,887	- 17,733	

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	コラボレーションコース	
補助事業主体 団体名	NPO法人奥州わらすば	
補助事業の名称	奥州市内家族食堂	
現状の課題	子どもの貧困を無くす。奥州市内の子ども達の現状から地域柄、子ども食堂＝貧困というイメージがある為子どもが一人で食事をするようになって、子どもがコンビニのおにぎり一個で夕飯を食べていても子ども食堂を利用することに抵抗がある家庭が多く、中々利用して欲しい人に利用されないことが多い現状がある。また、両親は仕事が忙しく家族が揃って食事をするのが少なくなっている。そういった親にゆとりのある時間を提供したい。	
事業の目的及び期待する効果	子どもの貧困対策と主婦の家事軽減や格安な家族食堂の開設を目的とする。子どもの健全育成效果（子どもの虐待・貧困の脱却）	
事業の成果 もたらした効果 （目的に対しての達成具合など）	子ども食堂が無かった地域（奥州市）に子ども食堂の定期開催をする団体が、私達の他に5団体に増え、当初の週1回どこかの地区で開催したいという目的は、おおむね達成できたと考える。しかし、コロナ禍で会食をすることが出来ずにお弁当の配布という形での継続であったが、それでも継続でき認知されていると考えている。また地域での協力や他団体からの協力、JA、企業、個人様々な皆さんから支援をいただき、地域で子ども達の育成や高齢者の見守り、居場所作りに賛同していただける方々が多方面に渡りいることが分かった。	
事業の実施状況	実施期間	2022 年 6 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで
	実施場所	水沢南地区センター（みなはじ食堂）、川端集会所（みんなの家）、遊笑楽（奥州わらすば）・パイオニア牧場（奥州わらすば・社協）
	実施内容	・家族食堂（子ども食堂・子どもの居場所）を開設 ※詳細は別紙。 みなはじ食堂 全10回 みんなの家（7月・8月・9月・11月） 奥州わらすば（遊笑楽）全8回 奥州わらすば・社協（パイオニア牧場）全9回 ・奥州市内の実施状況が一目でわかるチラシを作成し周知した。 ・食材提供等の情報交換を行った。 ・開設する際の問題点や解決策の共有を図った。
事業実施に おける 役割分担	提案者	各食堂のスムーズな運営と支援
	市	周知の協力と補助金支援
	その他団体	それぞれの食堂の開設
事業の今後の見通し	それぞれの団体が苦労しながらこの半年間を継続することを目標に食堂の開催に奮闘してきたおかげで認知された。今後他地区での開催に大きな励みになったことは言うまでもない。現に、羽田地区・そして4月には常盤地区でもとの声が聞こえてきている。江刺地域では、藤里地区でカフェ形式の地域の居場所作りがスタートしている。今後生母地区・前沢地域での開催も視野に入れて準備をしているなど、地区センター毎での開催を目標に今後も更なる広がりが見えるようである。これを継続してさらには奥州市の子どもの居場所ネットワーク作りへと進展させていきたいと考える。	
今後の課題	個人情報保護法があるため、対象者（生活保護世帯やひとり親世帯）を知る手段がない。本当に困っている人の所に届いているのか？どうすれば、困っている方へ情報が届くようになるのか模索していきたい。	

備考

- 1 現状の課題及び事業の目的については、奥州市市民提案型協働支援事業補助金計画書（様式第3号）の内容と一致させること。
- 2 事業の成果等、事業の実施状況、事業の今後の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 3 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業収支決算書

1 収 入

（単位：円）

項 目	変更予算額	決算額	増減額	説 明
補助金	280,000	280,000	0	
食堂収入	213,750	213,750	0	みなはじ 127,800 奥州わらすば 85,950
自己資金	917	917	0	
合 計	494,667	494,667	0	

2 支 出

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
食材費	265,735	265,735	0	みなはじ みんなの家 奥州わらすば
消耗品費	143,432	143,432	0	みなはじ みんなの家 奥州わらすば
教材費	0	0	0	
会場費	9,000	9,000	0	
交通費	76,500	76,500	0	
合 計	494,667	494,667	0	

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	チャレンジコース	
補助事業主体 団体名	公益社団法人 江刺青年会議所	
補助事業の名称	Hallowe' en NIGHT（ハロウィンナイト） - One Love フェスタ	
現状の課題	地域の小学生とその家族が、心から笑顔になれる思い出を作る機会が非常に少ない状況が続いております。	
事業の目的及び 期待する効果	地域の小学生とその家族が、心から笑顔になり、たくさんの思い出を作りながら、地域への愛着を強めていただくことが目的です。	
事業の成果 もたらした効果 （目的に対しての達成 具合など）	事業実施1週間前ほどから、ポスター広報を行った幼稚園・保育園などで話題となっておりました。SNSでの周知にも挑戦し、話題を生むことに成功しております。しかし、小学生への周知がしっかりと行えず、参加を促すことができませんでした。各小学校への周知をしっかりと検討する必要があります。 当日は天候も良く、事業開始から終了まで約350名の来場者を確認しました。子どもと保護者の皆様が大半を占め、コスチュームを身に着けてハロウィンを楽しんでおりました。蔵町モールはたくさんの笑顔であふれ、本事業の目的はある程度、達成できたと考えます。SNSでの写真投稿も多数なされ、ご家族での思い出作りの機会を十分に創出できました。大人にとっても子どもにとっても、地域への愛着を強めるには十分な事業であったと考えます。	
事業の実施状況	実施期間	令和4年10月29日から令和4年10月29日まで
	実施場所	奥州市江刺中町地内 蔵町モール
	実施内容	蔵町通りにハロウィン飾り（地域の児童が作成協力）を設置し、仮装での参加者を多数集め、光の空間にたくさんの笑顔を生み出します。キッチンカー等のテイクアウトや、射的コーナーも設置して、親子で楽しめる空間を実現しました。
事業実施に おける 役割分担	提案者	会場設営、広報、当日事業運営、会場警備
	市	道路使用に係る許可
	その他団体	無し
事業の今後の 見通し	来年度も、本事業を継続して行いたいと考えております。当青年会議所と多数の民間団体が協力して行う方向で実施を進めて参ります。	
今後の課題	10月末であり、日が落ちると非常に寒かったという声が聞かれました。ハロウィン特有の「夜の雰囲気づくり」を目玉としましたが、寒さ対策を検討していませんでした。体育館等の屋内で且つ広い会場を使用することで、解決を目指せると考えます。また、子ども（特に小学生）たちにしっかりと周知する為の工夫が必要であり、ポスター・チラシ・SNSに変わる第4の手段を検討します。 そして、地域商店街への波及効果を考えた企画も必要でした。周辺店舗との連携を行い、まちの賑わいの創出へ繋げていくことが今後の課題です。	

備考

- 1 現状の課題及び事業の目的については、奥州市市民提案型協働支援事業補助金計画書（様式第3号）の内容と一致させること。
- 2 事業の成果等、事業の実施状況、事業の今後の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 3 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

奥州市市民提案型協働支援事業補助金
収支決算書

1 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
補助金	50,000	50,000	0	奥州市市民提案型協働支援事業補助金
自己資金	260,000	177,308	-82,692	事業費繰入（江刺青年会議所）
民間補助金	30,000	30,000	0	元気 岩谷堂 創造事業補助金
合 計	340,000	257,308	-82,692	

2 支 出

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
会場設営費	120,000	120,000	0	蔵町モール飾等設置 イルミネーション等
企画演出費 ※補助対象外	70,000	68,721	-1,279	景品（おかし・射的ブース） 費用
広報費	80,000	57,497	-22,503	広告・チラシ デザイン・印刷費用
消耗品費	55,000	0	-55,000	ガムテープ、ロープ、画用紙、 飾付用物品等
雑費	15,000	11,090	-3,910	レクリエーション保険料 道路使用許可申請県証紙
合 計	340,000	257,308	-82,692	

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	チャレンジコース	
補助事業主体 団体名	みんなの家	
補助事業の名称	みんなのこども食堂	
現状の課題	コロナ禍もあり地域住民の交流が少なく人との関わりも少なくなり、地域の繋がりも薄れてきている。	
事業の目的及び 期待する効果	地域の人と人の繋がりを作って、安心安全な誰もが住みやすいまちにしていこう。	
事業の成果 もたらした効果 （目的に対しての達成 具合など）	企画を開催するにあたり、多くの人の支援があり、これも人との繋がりづくりの成果といえる。参加する方もボランティアの方も話をすることで交流でき、人との関わり方の大切さも感じ、美味しいものを食べ心も身体も癒される時間が持てた。作業を進める中で一つの事をみんなで協力する楽しさを感じる時間を作ることができた。企画の中での食事会場の設置は、参加者が自ら進んで動いてくれる等、助け合いの気持ちを感じる場面があった。他人事ではなく自分も参加することで「会」に協力出来ている事を感じ、交流により楽しい時間が持てる事業となった。	
事業の実施状況	実施期間	令和5年1月22日 10：00～14：00（9：00～16：00）
	実施場所	川端集会所
	実施内容	子ども食堂を中心に遊べるイベントを開催し、多世代の交流の場を作る。ボランティアさんの協力によりおにぎりとお汁のおふろまい、ピラティス講師を迎えリラックス体操、メイクボランティア美々さんのハンドマッサージ講座、みなさんから集めたもので「誰かの不要は誰かの必要」フリーマーケット、無料カフェスペース、おもちゃコーナーなど、世代を超えた交流を楽しめる時間を作った。参加者はボランティア20名一般参加者77名。
事業実施に おける 役割分担	提案者	みんなの家
	市	市関係の各所への広報、チラシ配布
	その他団体	メイクボランティア美々 ぬくもり隊、コープ委員会、包括支援センターみずさわ南、社会福祉協議会 各個人の方々
事業の今後の 見通し	ボランティアさんの可能な限り、開催企画し、みなさんが楽しめるイベントを継続して行いたい。（2か月1回程度、季節のイベントで楽しめる企画、親子で楽しめる企画、お手伝いの方が出来る企画を続けて行う。長期休みのこども達の居場所作りを行う。）	

今後の課題	企画を待っている方々がいてくれるが、企画者が空いている時間を活用しての開催であるため、定期開催が必ず出来るとはいえない。 開催にあたり、他協力者のやりたい催しが殺到している。 子育て世代、地域住民（高齢者）だけでなく、中間層の年齢も繋がりが持て、お互いの考えの理解などの話も出来たらいいと思う。
--------------	--

備考

- 1 現状の課題及び事業の目的については、奥州市市民提案型協働支援事業補助金計画書（様式第3号）の内容と一致させること。
- 2 事業の成果等、事業の実施状況、事業の今後の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 3 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

奥州市市民提案型協働支援事業補助金
収支予算（決算）書

1 収 入

（単位：円）

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
補助金	50,000円	50,000円		奥州市民提案型協働支援補助金
雑収入		5,143円	+5,143円	募金箱による寄付金
合 計	50,000円	55,143円	+5,143円	

2 支 出

項 目	予算額	決算額 (変更予算額)	増減額	説 明
講師費	20,000円	10,000円	-10,000円	講師謝礼金 10,000円×1人
旅費	5,000円	0円	-5,000円	講師交通費 なし
印刷製本費	6,000円	15,099円	+9,099円	ポスターチラシ案内板印刷費 プリンターインク代11,344円 コピー用紙代3,755円
通信費	2,000円	0円	-2,000円	郵送代 封筒 切手代 なし
消耗品	7,000円	11,909円	+4,909円	調理道具（洗剤・ペーパーなど） リクレーション用品
使用料賃貸料	7,000円	0円	-7,000円	会場使用料 なし
食材費	3,000円	18,135円	+15,135円	食材費
合 計	50,000円	55,143円	+5,143円	

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	チャレンジコース	
補助事業主体 団体名	特定非営利活動法人 青少年未来プロジェクト	
補助事業の名称	「おうしゅう無料塾」2022・冬	
現状の課題	様々な要因により、児童生徒間の学習機会が平等ではない。	
事業の目的及び 期待する効果	児童生徒間の学習機会を平等に近づけ、可処分所得の教育費の割合を減少させる。	
事業の成果 もたらした効果 （目的に対しての達成 具合など）	6世帯、合計8名（小学生3名、中学生4名、高校生1名）からの申し込みがあった。学年がまちまちであった為、完全な個別指導での対応となった。生徒の満足度はかなり高く、すべての生徒及び保護者から、また参加したいというアンケート結果であった。また、保護者からは「教育費にお金をかけることは難しく、生活にゆとりはない」との意見を頂いた。 本事業には、保護者も一緒に参加していただき、指導方針について協議し、実際に指導を通して、意見交換を行った。※参加者4名については、教育機関等では発達障害としての対応を受けていると確認している。	
事業の実施状況	実施期間	令和4年11月5日 から 令和4年12月30日 まで
	実施場所	奥州市江刺川原町地内「えびや」
	実施内容	奥州市内在住の児童生徒に対して、国語と数学を中心に講義及び個別指導を行った。 16時30分から20時30分まで。参加者は自由に勉強時間を設定できるようにした。 ・実施日 令和4（2022）年11月5日（土）、11月12日（土）、11月26日（土） 12月3日（土）、12月17日（土）、12月26日（月）、12月27日（火） 12月28日（水）、12月29日（木）12月30日（金）の10日間実施。 開催時間中は自由に参加でき、帰宅する時間も自由。
事業実施に おける 役割分担	提案者	無料塾の企画、設営、運営、広報、学習指導、生徒ケア、キャリア指導
	市	補助金支援、事業内容周知
	その他団体	無し
事業の今後の 見通し	生徒個人個人に合わせた完全な個別指導と、3人程度同時指導との2つの指導方法にて、無料塾を実施していきます。さっそく1月から試験的に実施します。	
今後の課題	今回参加した児童生徒中4名は、発達障害との判断を受け、教育機関が対応している。このような指導には、専門家（公認心理士・臨床心理士）の協力を仰ぐ必要があると感じる。 参加し易い場所、日程の検討が必要。また、利用している生徒が、他の生徒に気を取られるので、児童生徒の配置、別室での学習など、きめ細かい対応が必要。ほぼ全員が冬休みの課題を進める為に参加している。課題を進めることと学力を上げることは同義ではない。無料塾のコンセプトをブラッシュアップしていく必要を感じる。また、その内容をしっかりと参加者に認識していただく必要がある。	

備考

- 1 現状の課題及び事業の目的については、奥州市市民提案型協働支援事業補助金計画書（様式第3号）の内容と一致させること。
- 2 事業の成果等、事業の実施状況、事業の今後の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。

- 3 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

奥州市市民提案型協働支援事業補助金
収支予算（決算）書

1 収 入

（単位：円）

項 目	予算額	決算額 （変更予算額）	増減額	説 明
補助金	50,000	50,000	0	奥州市市民提案型協働支援事業補助金
自己資金	40,000	35,500	△4,500	事業費繰入（青少年未来プロジェクト）
企業協賛金	10,000	10,000	0	5,000円×2社（企業協賛）
合 計	100,000	95,500	△4,500	

2 支 出

項 目	予算額	決算額 （変更予算額）	増減額	説 明
会場賃借料	35,000	35,000	0	会場賃借費用（10日間分）
機材賃借料	20,000	20,000	0	プロジェクター及び特大スクリーン 賃借費用（10日間分）
広報費	18,000	15,000	△3,000	広報用チラシ制作費
消耗品費	5,500	2,500	△3,000	消毒液、コピー用紙、 筆記用具等
暖房費	18,000	23,000	5,000	暖房費
雑費	3,500	0	△3,500	振込手数料等
合 計	100,000	95,500	△4,500	